

## 食品ロス削減推進法の取り組みについて

**(質問)** 食品ロス削減推進法が本年10月に施行された。わが国の食品ロスの量は、環境省によると平成28年度で年間643万トン、国民1人当たり1日約139g、お茶碗1杯のご飯を国民全員が毎日捨てている量になる。その内、食品関連事業者が54.7%、一般家庭が45.3%を占

めている。一般家庭はもちろん、食品関連事業所などの各種関係団体とも連携を深め、食品ロス削減とその有効活用に取り組むことが肝要だと考えるがいかがか。

**(答弁)** 食品ロス削減に向け、市民ならびに食品関連事業者、また市役所関係部局とも連携し、また先進的な取り組みを行っている関係機関・団体の情報を収集して、本市独自の先進的な食品ロス削減の施策に取り組んでいきたい。

**その他の質問** ○一般介護予防事業のあり方

## 子ども達を取り巻く環境について

**(質問)** ①2022年度から初等中等教育機関に開放されるSINET(学術情報ネットワーク)に対する本市の取り組みは。②市内に担任不在のクラスが多数あるが、状況と対応は。③千代崎水門下流堤防被災による通学路変更では、工事終了後の通学路復旧に時間を要した。地域の困難な状況が顕在化し鈴鹿市通学路交通安全プ

ログラムが機能し始めて問題が解消されたが、今後はどうするのか。

**(答弁)** ①SINETについては、次年度以降の国の動向を注視していく。②担任不在の中学校は1校、小学校は6校あり、担任業務については副担任や専科教員などが引き継いでいる。③鈴鹿市通学路交通安全プログラムは校長会でも周知し、通学路変更についても学校を支援していく。

**その他の質問** ○地域づくり協議会が協力を求める組織との連携

## 熱中症対策と検証

**(質問)** 記録的な高温や猛暑により、熱中症で体調を崩す事案が多く発生しているが、本市の子どもたちへの熱中症予防対策について、モニタリングスポットの活用状況は。また、小学校へ冷水機を設置してはいかがか。

**(答弁)** 本市のモニタリングスポットは、ポテカと呼ばれる超高密度気象観測システムの

活用を促し、市内の小中学校など15カ所に整備している。アプリを通じて、気温、湿度、気圧、暑さ指数などについて簡単に把握することができるため、熱中症事故の防止に努めるよう各校へ周知している。また、冷水機の設置について小学校長から要望がある場合には、モニタリング調査を前提として、可能な範囲で実際の小学校への設置を試み、冷水機の効果について検証も考えていく。

**その他の質問** ○防災・減災対策 ○小学校教科担任制と教科センター方式

## 市営住宅について

**(質問)** ①単身高齢者同士で市営住宅をルームシェアすることで、家賃・光熱費などの負担が軽減され、滞納対策につながると考えるがいかがか。②契約更新制度の導入について、困窮時の入居者に対して連帯保証人の有無は大変な負担であり、緊急連絡人の代用はできないか。

**(答弁)** ①家賃の軽減、相互の見守りなど有効な利用方法であると考えられるが、入居者間のトラブルや、駐車場など多くの課題があると考えられ、今後、先進地の取り組みを調査・研究していく。②契約更新時に高齢者や障がい者など、特に配慮を要する世帯に対し、連帯保証人の条件の緩和なども検討していく必要があり、県や他市の意見も参考にしながら検討をしている。

**その他の質問** ○不登校児童生徒への学力支援 ○災害時の緊急伝達